

## Web 版付録5 データの読み込みと呼び出し（改訂版）

### 5-2 内部データの呼び出し

#### <各 OS 共通>

【初版からの変更点】R コマンダーの新しいウィンドウ表示にあわせて、図を差し替えました。

【注意】Web 版付録5-1 と 5-3 は、別のリンクにあります。

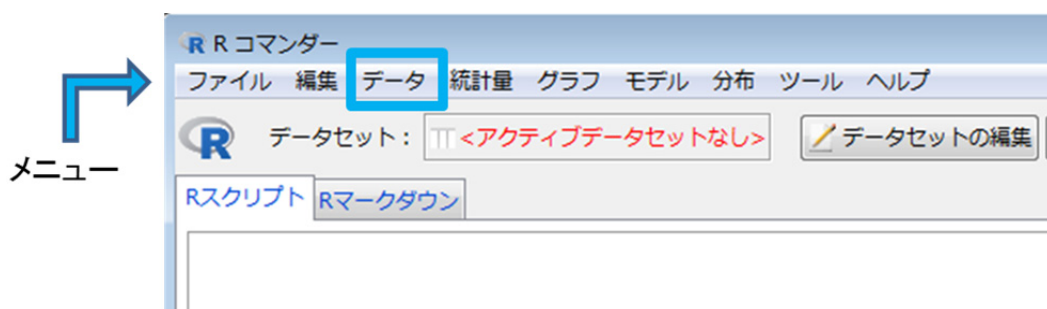
R コマンダーには、実際の計測や調査にもとづくデータがたくさん用意されています。おもしろそうなデータを探して、この本で学んだことを実際に試してみると理解が深まるでしょう。ただし、他のどこかからデータを探す手間は省けるのですが、実習の目的に沿ったデータを探すには、少し時間がかかるかもしれません。また、変数名やデータの出典元に関する記述は、すべて英語です。airquality という大気汚染に関するデータを例にして、R コマンダー内部に用意されているデータを呼び出す方法を説明します。

#### R コマンダー内部に用意されているデータの呼び出し

airquality という大気汚染に関するデータを例にして、R コマンダー内部に用意されているデータを呼び出す方法を説明します。

1. 操作説明図 E-201 は、R コマンダーのウィンドウの上部を表示したものです。ファイル、編集、データ、…、ヘルプと表示されている行をメニューとよびます。メニューの「データ」をクリックすることから始めて、「データ」→「パッケージ内のデータ」→「アタッチされたパッケージからデータセットを取り込む…」と進むと、操作説明図 E-202 の「パッケージからデータを読み込む」というウィンドウが表示されます。

操作説明図 E-201



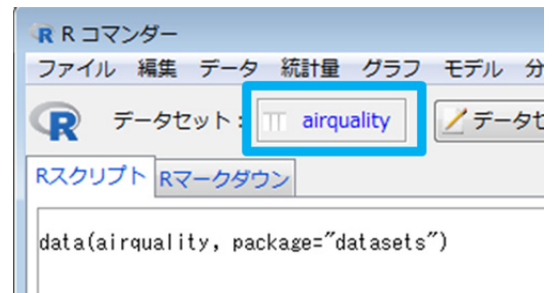
操作説明図 E-202



2. 左側のパッケージ (ダブルクリックして選択) から“datasets”をダブルクリックして選び、右側のデータセット (ダブルクリックして選択) の欄に表示される選択肢の中から、“airquality”をダブルクリックします。

操作説明図 E-203

3. 操作説明図 E-203 のように、R コマンダーのウィンドウ上部にある「データセット:」の表示の右に青で `airquality` と表示されれば取り込み完了。



【参考】R コマンダーでは、「データセット:」の表示の右に青で表示されているデータに対して、図を描いたり、平均や標準偏差などを求めたりすることができます。

操作説明図 E-204

【参考】R コマンダー内部に用意されているデータがどのようなものであるかを知りたいときは、操作説明図 E-204 で指定されている

選択されたデータセットに対するヘルプ

をクリックします。データについて説明が記されたウェブサイト開きます。ただし、説明はすべて英語です。

